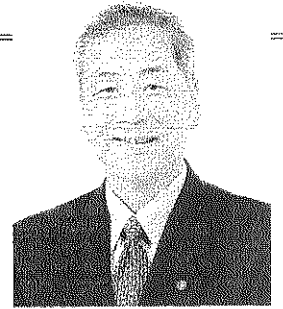


こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2017年12月3日号



11月8日、副市長が、「各局区等の長様」へ「来年度予算の編成について（通知）」との文書を発信しました。現在、市において、来年度の予算編成作業の真っ最中ですが、その、編成の基本方針を打ち出したものです。しかしその内容たるや、相変わらず「財政危機」「厳しい財政状況」等々を強調する一方で、「本市の景気は緩やかに拡大」と言い張るなど、そもそもの現状分析が混迷しています。今日の地方財政危機の本当の原因に迫ることもできず、従って、そこから抜け出る展望も明らかにできません。結局、見直し断行、即ち市民向け予算の削減ありきを指示するものとなっています。

主な項目について、分かりにくい官僚の文書を、井上議員なりに「翻訳」してみました。

| 副市長発信の「通知」より | 井上議員の「翻訳」、感想 |
|--|--|
| 有効求人倍率1.5倍を超えるなど景気は緩やかに拡大。 | 介護や保育などの分野では労働条件が悪く、求人を何回出しても求職者が少ない。結果として見かけの倍率が高いだけ。 |
| 市税収入は、大きく減少したまま回復していない。地方交付税（国から各自治体へ来るお金）の大きな落ち込み。厳しい財政状況。深刻な状況が続く見込み。 | 政府の大企業減税が自治体の減収に連鎖しているのに、そのことへの批判的視点が皆無。国が交付税を減らしていることについても、抗議と批判が弱く、お願いだけ。 |
| 企業活動の活性化による税収増を目指し産業用地の創出。 | 目下の課題は用地不足よりもモノが売れること。消費拡大。消費者の購買力拡大。その為に賃金の底上げと社会保障の充実。 |
| 聖域を設けることなく事業の再点検・見直しを断行。事業の検証を徹底。休廃止も含む抜本的な見直しを断行。社会福祉関連経費を含め、あらゆる施策について、必要経費を徹底的に精査。費用対効果について説明責任を徹底。中長期的な視野にたった大胆な見直し。 | 老人医療の窓口負担の値上げや介護保険利用料の値上げは既に実施済み。来春、保険料も値上げの見込み。保育料や学校経費、ゴミ袋代等も高いまま。敬老乗車証も改悪されようとしています。効果はそれなりなのに費用はこれだけでも掛かっていると、もっと宣伝していく。見直しは来年度だけに留まらない。 |
| 民間にできることは民間に。民間の大胆な発想を取り入れた資産の有効活用など。 | 例えば民泊調査はJTBがやっています。市バスの運転手の半分は京阪や阪急などの労働者。区役所窓口の職員も、民間会社へ委託との方針。既に市民は「お客様」と呼ばれています。市の経費節約と民間大企業に商売の場を提供するのが狙い。学校跡地や中央市場の一部をホテルや大型店に。 |
| 日本の「こころの創生」を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現…。 | 「日本に京都があってよかった」などと言うのは、もうそろそろやめたらどうでしょうか。どの町にも人が生活しています。 |

市民向け予算の「層の削減と自治体の「民間化」を推進
混迷を深め、展望なき市の将来と財政見通し
副市長発各局長宛「来年度予算編成について」を読み解く

歳末生活資金貸付
 12月8～13日、各
 日3時迄。印鑑と家
 族構成の分かるもの
 持参。於ヘルスピア。

12月3日、1時半～
 来を考えるシンポ
 子どもたちの今と未
 (於)東本願寺北側、
 しんらん交流館にて

敬老乗車証特集ミニパ
 ンフレット創りました

市営住宅入居者募集
 12月9日迄に申込。
 詳細は井上議員迄。



介護をよくする京都の会(11/12)



南区生活と健康を守る会を激励(11/12)